

仙台塩釜港仙台港区で「せんだいポータルラジオ」を運用開始 —無線通信により船舶の安全で円滑な入出港を支援—

県では、仙台塩釜港仙台港区における船舶の大型化や輻輳による港内の混雑に対応し、船舶が安全で円滑に入出港できる環境を整備するため、船舶との無線通信による情報共有や施設の利用調整などの航行支援を行う 国際VHF海岸局※1「せんだいポータルラジオ」を開局し、試験運用を経て、4月1日より本格的に運用を開始します。

ポータルラジオの運用は、新たに設置した「仙台港区VTIS※2センター」において、委託業者のオペレーターが、船舶の入出港情報の収集、目視やカメラ、レーダー等による船舶動静の把握、船舶との無線通信による関係者間の意思疎通や情報共有、港湾施設の利用調整などに、24時間365日体制で対応します。

ポータルラジオの導入により、初入港の外国船も安心して入港できる信頼性の高い港として、国際競争力の強化、取扱貨物量の更なる増大につながることが期待されます。

○ ポータルラジオの業務概要（別紙参考資料参照）

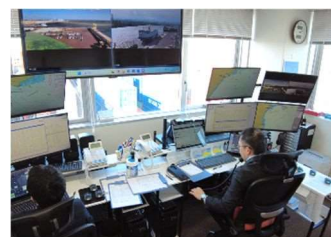
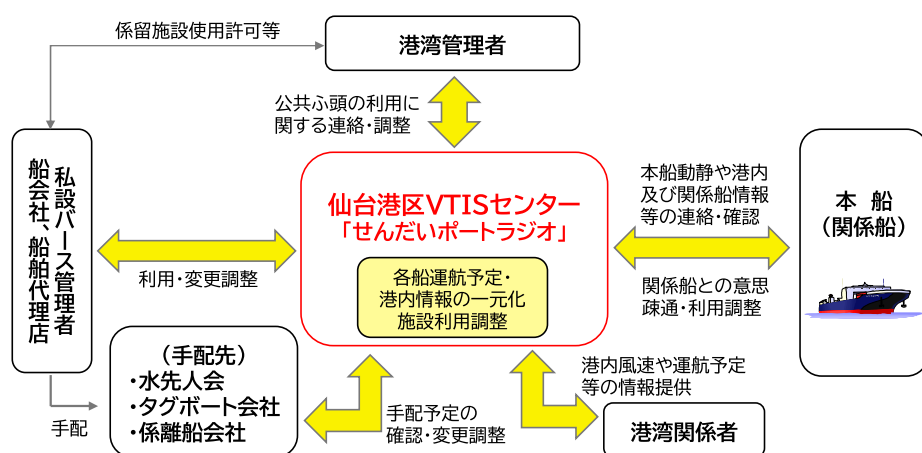
（１）業務場所及び無線等設備

- ・業務場所：仙台港区VTISセンター（高砂コンテナターミナル管理棟4階）
- ・設 備：無線設備、監視レーダー、港内カメラ、風向風速計

（２）ポータルラジオの主な業務（24時間365日）

- ① 船舶の入出港に関する情報の収集・提供
- ② 無線通信等による船舶やタグボート等関係者間の意思疎通
- ③ 水域を含めた港湾施設に関する利用調整（入出港順序等）

ポータルラジオ業務のイメージ



▲VTISセンター内の様子



▲入港時間の確認や港内情報の提供

○ その他

船舶関係者との情報共有の内容や手順等を定めた「仙台塩釜港仙台港区 運航調整ガイドライン」を県ホームページに掲載しています。

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kouwan/sendai-port-radio.html>



※1 国際VHF無線電話を搭載する船舶と通信するため、宮城県が免許を取得した陸上側の無線局

※2 Vessel (船) Traffic (交通) Information (情報) Service (サービス) の略



国際VHF無線局「せんだいポータルラジオ」の概要

明日につなぐ×三軒家園に旅7
宮城県土木部

▽ 令和7年4月1日から仙台港において、ポータルラジオの本格運用を開始

ポータルラジオの概要

(1) ポータルラジオの主な業務(24時間365日)

- ① 船舶の入出港に関する情報の収集・提供
- ② 無線通信等による船舶やタグボート等、関係者間の意思疎通
- ③ 水域を含めた港湾施設に関する利用調整(入出港順序等)

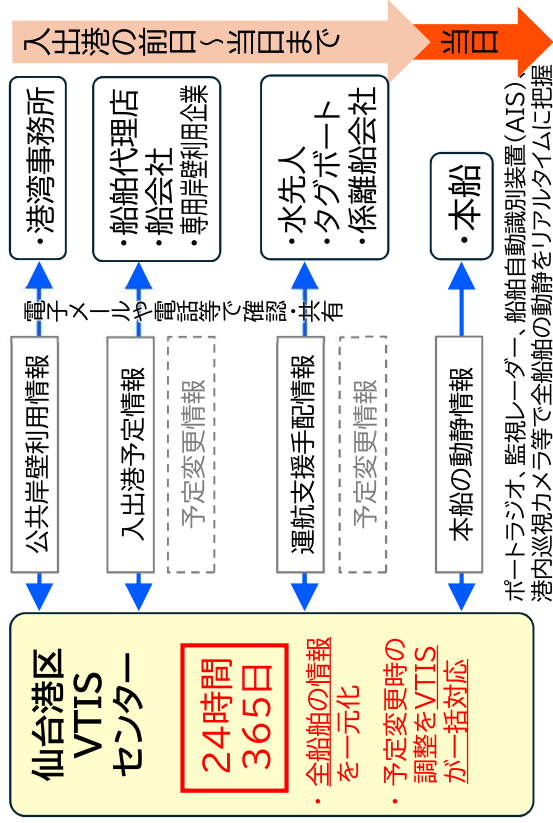
(2) 業務場所及び無線等設備

- ・業務場所: 高砂インテグナル管理棟4階(名称: 仙台港区VTIS※センター)
- ・設備: 国際VHF無線局「せんだいポータルラジオ」(呼出し名称) 監視レーダー、港内カメラ、風向風速計

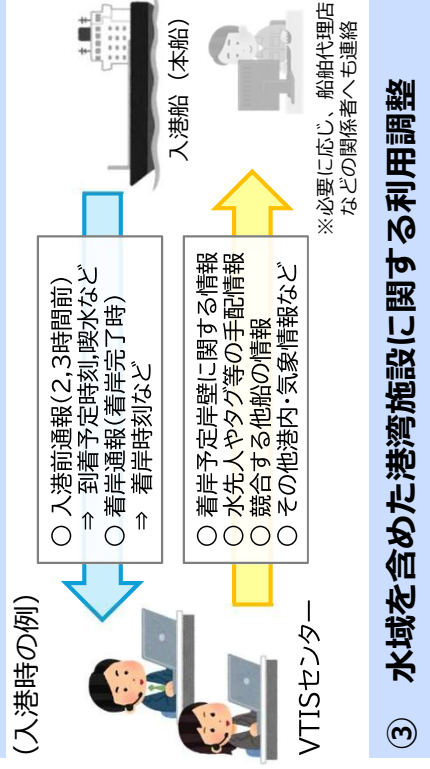
※ Vessel(船) Traffic(交通) Information(情報) Service(サービス)の略

具体的な業務内容

① 船舶の入出港に関する情報の収集・提供



② 無線通信等による船舶等関係者間の意思疎通



③ 水域を含めた港湾施設に関する利用調整

利用の競合

- ・回頭中の大型船舶の横を通過
- ・中央航路内での大型船や油送船とのすれ違い
- ・予定時間の変更による岸壁利用の競合 など

▼入港実績(500トン以上の船舶)

年次	平成20年	令和5年
隻数	4,402隻	4,640隻
1隻当たり平均総トン数	8,976トン	10,539トン

15年で1.2倍



無線局の位置と通信可能範囲

